

# 競技注意事項

## 1. コロナウイルス感染拡大防止対策

### 1. 入場について共通項目

- ① 今大会は無観客とし、競技場へ入場できるのは、各学校の陸上競技部顧問（2名）、競技役員、選手、マネージャー（高校生2名まで）、補助員のみとする。
- ② 競技場へ入場する人は全て体調管理チェックシートの提出が必要となる。
- ③ 大会後の2週間は「大会後・自己管理用 体調管理表」（高体連 HP 参照）を記録すること。

### 出場選手

- ① 競技場に着了いたら最初に正面出入口にて体調管理チェックシートを提出すること。このチェックを受けなければ、ウォームアップ場（サッカー場）への入場や招集を行うことができない。
- ② 2種目以上出場する競技がある選手は参加種目数分の体調管理チェックシートを準備すること。（リレーも含む）
- ③ 体調管理チェックシートによる受付は、出場種目の2時間前から可能とする。
- ④ 体調管理チェックシートは、スタンド1階中央招集所で招集済みのチェックを受け各種目別入場ゲートで回収する。提出がなければ競技会への出場は認めない。
- ⑤ 決勝・準決勝に進出する選手は招集時間までにアスリートビブスを提示して招集を行い、アスリートビブスを入場 ID として提示することで、競技場に入場できる。
- ⑥ 密を避けるため、必ず招集時間を守って招集所へ来ること。
- ⑦ 入場後に自分の荷物をまとめて置いておくためのビニル袋（40㎝サイズ以上）を各自で1枚を用意する。（荷物置場にテントは設置しません）
- ⑧ 競技が終了したら、すみやかに入場したゲートから競技場を出る。
- ⑨ 記録の掲示は決勝・準決勝進出者以外は発表しない。決勝・準決勝進出者は QR コードより WEB 速報を見て確認するか、正面出入口付近にも掲示する。
- ⑩ 競技終了後は必ず手洗いや洗顔などを行い、消毒を実施し、新型コロナウイルス感染予防に努めること。

### 競技役員・学校顧問・マネージャー・補助員

- ① 学校顧問・マネージャー・補助員には体調管理チェックシート提出時に入場 ID を配布する（競技役員は審判員証、補助員は腕章でよい）ので競技場の入退場に使用する。
- ② マスクの着用、ソーシャルディスタンスに配慮しメインスタンドを利用してもよい。（選手不可）
- ③ 補助員のメインスタンドを使用については、2階中央ゲートから入場し、控え場所としての利用のみ可とする。応援等の行為は一切認めない。

### 2. 待機場所について

- ① 選手は原則学校ごとに割り当てられたエリア（高体連 HP 参照）で待機する。
- ② 選手の待機場所としての利用のみとし、それ以外の用途として留まらないこと。

### 3. 招集所について招集場所は1階正面出入口とし、体調チェックの検印後、招集が可能となる。

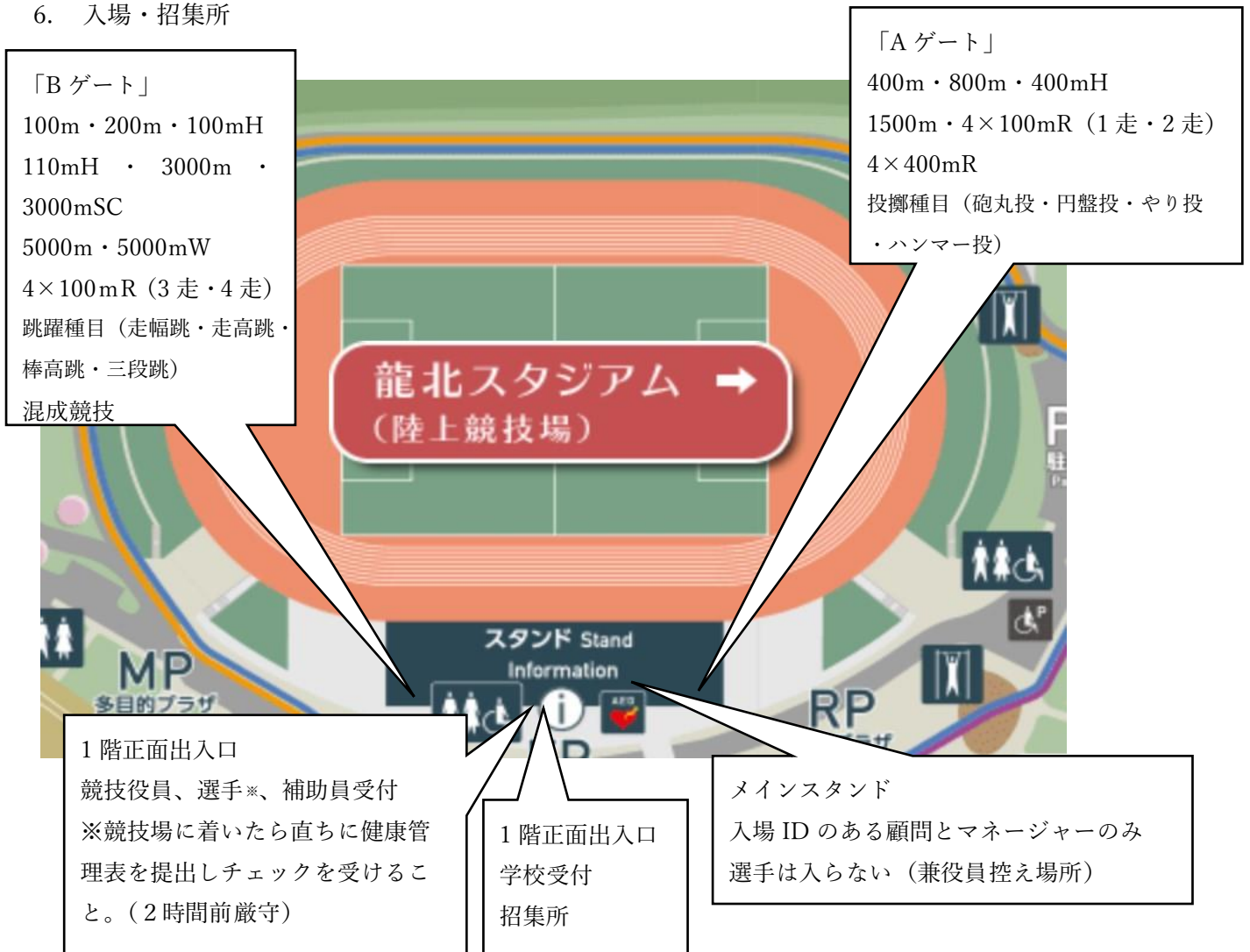
#### 4. 更衣について

- ① 使用できる更衣室はスタンド一階にある、男女更衣室とする。
- ② スタンド1階正面出入口で更衣室使用許可のカードを受け取り、各更衣室を使用する（1回5分以内とする）。各更衣室の定員を20名程度とする。

#### 5. その他

- ① 各自で出したごみは必ず持ち帰ること。清掃当番校の割り当てはありません。
- ② 応援行為は一切禁止とする。
- ③ ウォーミングアップや自身の競技の最中以外はマスクを着用し、感染予防に努める。
- ④ 補助員は、午前、午後で交代すること。
- ⑤ 閉会式は行わない。

#### 6. 入場・招集所



## 2 競技規則について

### 1. 競技運営について

- ① 本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則に則って行う。
- ② 本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。

### 2. ウォーミングアップについてウォーミングアップの実施はウォームアップ場（サッカー場）で競技開始2時間前から実施してもよい。

この範囲のなかであれば下記の通りにウォーミングアップを実施してよい。

#### ① 龍北スタジアム

- ・ 下記種目のみ受付開始時刻から競技開始30分前まで、練習可能とする。

1日目 男女 4×100mR 予選、2日目 男女400mH 予選

- ・ 競技開始30分前になったら競技者（招集完了している競技者も含む）は速やかに競技場から退場すること。ただし、フィールド種目の出場選手は除く。

#### ② ウォームアップ場（サッカー場）

- ・ 龍北スタジアムの正面出入口で検温と体調管理チェックシートを提示すること。
- ・ 終了時刻は両日とも、最終コール時間までとする。
- ・ 跳躍練習、投擲練習は実施できない。（メディシンボールを使つての練習や持ち込みのハードルを使つての練習も含む）
- ・ スパイクシューズの使用を禁止する。
- ・ テントを設営するなど学校の待機場所として利用しない。
- ・ 他人の怪我につながる可能性のある行為をしないこと。
- ・ 出場種目の2時間前から最終コールまで使用してもよい。

### 3. 招集について

- ① 招集所は、競技場の1階正面出入口付近に設ける。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、該当種目については棄権とみなして処理する。
- ③ 各種目の招集開始時刻・完了時刻は以下の通りである。
- ④ リレーのオーダー用紙は、予選は1組目招集完了時刻の30分前にまでに、準決勝・決勝については招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- ⑤ 招集開始時刻・完了時刻は下記のとおりとする。ただし、110mHと100mHについては練習時間を設けるので競技開始30分前開始とし、20分前完了とする。

	招集開始	招集完了
トラック競技 (110mH.100mHの予選のみ)	競技開始20分前 (競技開始30分前)	競技開始10分前 (競技開始20分前)
フィールド競技（棒高跳を除く）	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳び	競技開始90分前	競技開始80分前

4. アスリートビブス（ナンバーカード）について
  - ① 規定のものを、胸部・背部に必ず固定しておくこと。（競技規則 1 4 3 条 7・8 を厳守）
  - ② 跳躍競技については、胸と背のいずれか一方のみでもよい。
  - ③ トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を招集時に配付する。右腰のやや後部につけ、競技終了後は各自持ち帰ること。
  
5. 表彰・各種目の得点について
  - ① 各種目 6 位までに賞状を授与する。
  - ② 各種目の得点は、1 位 6 点、2 位 5 点、3 位 4 点、4 位 3 点、5 位 2 点、6 位 1 点とする。
  - ③ 男女それぞれ総合 6 位まで、トラックの部・フィールドの部 3 位までの学校に賞状を授与する。
  
6. 東海大会出場者(チーム)について
  - ① 東海大会出場者は、各種目上位 6 名とする。
  - ② 東海大会出場者は、直ちに東海大会出場の手続きを本部にて行うこと。

## 2 競技に関して

### 1. 競技器具・競技用靴について

- ① 原則として競技場備え付けのものを使用すること。
- ② 棒高跳における「ポール」、やり投げにおける「やり」については私物を使用してもよい。私物を使用する場合においては検査を行い、「やり」については一括借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。なお、検査については次のとおりとする。  
 検査時間 招集開始 1 時間前から招集開始時刻まで  
 検査場所 ポール・・・現地 やり・・・招集所付近
- ③ スパイクのピンの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投については 12mm 以下とする。いずれの場合も本数は 11 本以内とする。
- ④ WA 規則第 143 条 (TR5：シューズ) のルールを適用する。規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は、失格として取り扱う。
- ⑤ 4 月 14 日付の日本陸連発出の文書「陸連 21 発第 5 - 2 号」に基づき、本大会は、フィールド競技用シューズの TR5.5 を適用せず実施する。記録は国内の公認記録として認められる。フィールド種目については WA への申告を行わず、国際大会への参加資格とはならない。
- ⑥ 以下の種目において支部予選会で下記記録をクリアしていない選手は、プログラムに記載されているが本大会には出場できない。

種 目	記 録
男子 5 0 0 0 mW	28分00秒00
女子 5 0 0 0 mW	33分00秒00
男子ハンマー投	33m00
女子ハンマー投	23m00

## 2. トラック種目及びフィールド種目の実施方法について

### トラック競技

- ① トラック競技の計時は、全て写真判定装置を使用する。
- ② 男子5000mは22分、女子3000mは15分で競技を打ち切る。
- ③ 男子5000m競歩は30分、女子5000m競歩は35分で競技を打ち切る。
- ④ 110mH、100mHについて、予選は競技開始の前の10分間、決勝は5分間の練習の時間を設ける。

### フィールド競技

- ① 全てベスト8を実施する。
- ② 投擲競技の計測は、光波測定器を使用する。(運営上の問題で変更する場合がある。)
- ③ 走高跳を除く跳躍、やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1個だけ使用することができる。走高跳の競技者は各自でマーカー(粘着テープ、2箇所まで)を助走路内に用意することができる。
- ④ 三段跳の踏切版は、砂場から男子12m、女子9mの地点に設置する。
- ⑤ 走高跳・棒高跳について  
走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。ただし、天候などの状況により変更することがある。

種目	練習	1	2	3	4	5	以降	
走高跳	男子	1m65～	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	3cmずつ
	女子	1m35～	1m40	1m45	1m50	1m55	3cmずつ	
棒高跳	男子	3m50～	3m60	3m70	以降10cmずつ			
	女子	2m10～	2m20	2m40	2m60	以降10cmずつ		

## 3. 競技運営について

- ① 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似品の危機を競技場内で所持または使用することはできない。
- ② 競技者は競技場所から勝手に離れることはできない。(競技規則第144条3(b)・4)
- ③ 抗議は、競技規則146条によって定められた時間内(結果がアナウンスされた時刻を正式発表とする)に、競技者自身もしくは代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控え室で待機する。さらに、審判長裁定に不満の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて Jury に「抗議申立書」で申し出る。
- ④ 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によって当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

## 4. 番組編成について

- ① トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。
- ② レーンで行うトラック競技では、欠場者のレーンは空ける。
- ③ 記録の掲示は決勝・準決勝進出者以外は発表しない。決勝・準決勝進出者はQRコードよりWEB速報を見て確認するか、正面出入口付近にも掲示する。

- ④ タイムによって次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録は写真判定主任が 0.001 秒の実時間を判定して進出者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。

(競技規則第 167 条)

#### 5. 一般的注意事項

- ① 各校引率教員は大会当日の出場競技開始 30 分前までに学校受付を完了すること。この受付がない場合、選手は競技に参加することができない。この時、引率教員に入場 ID を渡す（競技役員は審判員証でよい）。
- ② 選手の変更は認めない。
- ③ ゴミの持ち帰りに務めること。また、近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
- ④ 応急処置をする場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。競技場での疾病・障害に対する応急処置は主催者で行うが、以降の責任は一切負わない。
- ⑤ 競技場外フェンス付近での観戦、応援は厳禁とする。
- ⑥ 貴重品の管理は、各自で責任を持って行う。

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください

※保護者及び本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影禁止をさせていただくエリアは下記のエリアです。

◎各種目のスタート後方

◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。

## 令和 3 年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技大会 携帯速報

アドレス：<http://aichi22.com/koukoushinjin/nans21v/shtml/TimeTable.html>

QRコード：

